

生徒会組織決定



生徒会長	2-2	井手武 (神川)
副会長	2-1	小美野真絢 (富士見)
副会長	2-4	石丸瑞姫 (中条)
会計	2-1	大谷愛 (上柴)
会計	2-1	横山美彩 (行田市立西)
書記	2-1	栗原ぎおん (富士見)
書記	2-2	根岸歩花 (富士見)
執行部員	2-5	中田涼介 (秩父第一)
	2-6	天野誠之 (大里)
	1-1	松本楓生 (三尻)
	1-2	田中颯 (富士見)
	1-3	矢田奈々星 (花園)
	1-4	高鳥暖也 (大幡)
	1-4	仲田唯 (江南)
	1-4	森村磨奈美 (花園)
	1-5	金子剛 (大原)
	1-5	駒井鼓々乃 (幡羅)
	1-5	長谷川晴哉 (大幡)

11月17日、生徒会組織のための会長選挙が行われ、生徒会長として2年2組井手武さんに決定しました。

左記は新生徒会役員です。井手新生徒会長を中心に任期一年間活動していきます。これからどんな熊商になるのか楽しみです。まずは平成29年2月15日の予餞会。「餞」の字はさやかな食事ということを意味しているようです。これから立つ人に、快く旅立ちのように皆さんで振る舞い、最高のおもてなしをしましょう。



卒業生による進路懇談会がありました。大学短大・専門学校・看護医療・就職・公務員とそれぞれ一、二年生は進路希望別に分かれて先輩方の現在の取組や進路決定にあたっての準備の方法を熱心に聞き入っていました。特に二年生は進路活動の具体的な動き出す時期であり、メモをとったり、突っ込んだ質問をしたり、受けついで質問を多く見受けられました。

この春まで熊商生だった先輩方が正装で引き締まった表情で話をしてくれました。熊商卒業生は頼もしいです。



戦争体験と平和について

金子兜太氏



11月30日(水)
熊谷市在住の俳人、金子兜太氏を講師として招聘し、自身の戦争体験と平和についていただきました。

トラック諸島で部隊内において自身が活動したのは生々しいエピソードをはじめ、戦争は絶対にしてはいけない、反対しなければならぬ、反対しなればならない、と強く主張され、約70分の講演を終えました。

生徒は、改めて戦争は怖く恐ろしい、というこの講演を振り返っていま

金子兜太(かねこと)うた、1919年(大正8年)9月23日(生)は、埼玉県出身の俳人。加藤楸邨に師事、「寒雷」所属を経て、「海程」を創刊、主宰。戦後の社会性俳句運動、前衛俳句運動において理論・実作両面で中心的な役割を果たし、その後も後進を育てつつ第一線で活動している。上武大学文学部教授、現代俳句協会会長などを歴任。現代俳句協会名誉会長、日本芸術院会員、文化功労者。小林一茶、種田山頭火の研究者としても知られる。

ウィキペディアより引用